

## 本学独自の奨学金 ～奨学金の種類や要件～

本学では、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間奨学団体からの奨学金を取り扱っています。  
また、本学関係者等からの寄附金などによる本学独自の奨学金も用意されています。

奨学金の名称	授与対象者	奨学金の額	人数
みがかずば奨学金 (予約型奨学金)	1. 日本の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者 2. 当該年度の4月に本学学部1年生に入学する予定で、本学に強く入学を志望する者 3. 成績、人物ともに優秀で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者(1～3のすべてを満たす者)	1年目 300,000円 2年目 300,000円	19名 (H23年度)
学部生成績優秀者奨学金	学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る)のうち、1・2年次の成績、人物が特に優秀と認められた者	200,000円	25名 (H23年度)
桜蔭会奨学金	各学部より推薦された学部3年生	100,000円	4名 (H23年度)

この他にも、学科・専攻別の奨学金や大学院生を対象とした奨学金もあります。詳しくは、お問合せください。

問合せ先 学生・キャリア支援チーム 03-5978-2646

## 学生寮 ～本学には3つの学生寮があります～

国際学生宿舎	小石川寮	お茶大 SCC
日本人だけではなく、留学生も数多く入居しています。日常生活において自然と国際交流をすることで、国際的な視野を身につけることができます。また、セキュリティ面においても昼は寮母さん、夕方から翌日にかけては警備員が常駐するので安心です。	大学から徒歩3分程度の場所にあり、大学院生が入居することができます。池袋駅や東京駅などのターミナルステーションへのアクセスが良い場所です。寮生同士のふれあいが多く、さまざまな専攻と幅広い年齢の友人と出会うことができます。	平成23年に完成した寮で、大学から徒歩3分程度の場所にあります。個室と共用リビングを持ち、5人で1つのハウスを組んで個室で暮らしながらも友達と一緒に生活しているような新しいタイプの寮です。個性豊かな学生たちの人間関係の中で社会性を培い、自立性と協調性をもった人格を育むことができます。

▶ 詳細は、それぞれのWEBサイトをご覧ください

学生主体の  
新しい学士課程の創成

<http://www.ocha.ac.jp/nsep/>

21世紀型  
文理融合リベラルアーツ

<http://www.ocha.ac.jp/la/>

複数プログラム  
選択履修制度

<http://www.ocha.ac.jp/nsep/popp/>



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1  
<http://www.ocha.ac.jp/>

Finding Your Own Way

～学生主体の新しい学士課程の創成～

21世紀型  
文理融合リベラルアーツ

&

複数プログラム  
選択履修制度



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

2013

# 学生主体の新しい学士課程

お茶の水女子大学では、教養と専門性を備え、  
自主自立の精神に富んだ女性リーダーを育成する学士課程教育を推進しています。

お茶の水女子大学の教育は、21世紀型文理融合リベラルアーツ(文系、理系の領域を横断した視野を獲得し、自在につかえる技を学ぶ)を基礎とした広い視野のもとに、創造性と実践性を備えた専門基礎力を持つ人間を育成する新たな学士課程です。自然・人文・社会領域の総合的理解を深める「21世紀型文理融合リベラルアーツ(教養教育課程)」の基盤の上に、学生主体の複数プログラム選択型専門教育課程を導入し、21世紀の社会に必要とされる教養と専門性を備え、自主自律の精神に富み、女性リーダーを育成する学士課程教育を実践します。

具体的には、従来の学科、コースの専門性の枠内で閉鎖的に専門教育を実施するのではなく、学部学科等を横断した「複数プログラム選択履修制度」を導入し、主プログラムと選択プログラムの組み合わせにより、多様な可能性をもつ専門基礎力を育成するものです。

これは、ひとつのキャンパスに人文科学、社会科学、自然科学の3つの分野が集う、お茶の水女子大学だからこそ可能なプログラムなのです。

お茶大型新しい学士課程の高度な教育を基に、  
専門力を活かした多様な進路へ。

21世紀型  
文理融合リベラルアーツ



複数プログラム選択履修制度

お茶の水女子大学では、大きく分けて「コア科目」、「専門教育科目又は専攻科目・関連科目」、「自由に選択して履修する科目」の3つの学習区分が設定されており、その中で必修科目・選択科目が配置されています。

「コア科目」はこれからの学習・研究における社会的関心が高く、現代世界を理解するうえで重要と思われる問題領域や視点を核とし、芯(コア)となるべきものを学生が主体的に模索し育成する際の一助となるよう設定されています。科目として、「文理融合リベラルアーツ」「基礎講義」「情報」「外国語」「スポーツ健康」に区分されます。文理融合リベラルアーツ科目は、文系理系にまたがる5つのテーマに沿い、講義や演習等を組み合わせ多面的に学ぶ科目群から成ります。1年生から参加することで、学術的で実践的な力を培います。

そして専門教育課程の複数プログラム選択制度で自分のニーズに合わせたプログラムを選択することにより、幅広い教養と深い専門性を兼ね備えた、自主・自律の精神に富む女性として社会に羽ばたいていけるはずです。

「複数プログラム選択履修制度」は、深い専門性と  
幅広い教養の育成、各人の〈主体的な学び〉の構築です。

皆さんは、大学の専門教育と聞くと、どういことをイメージするでしょうか。「大学とは、世界を成り立たせているさまざまな仕組みを学術的で専門的な方法で研究するところだ。だから、大学の専門教育も深い学問に根差した知識や技能の基礎を教えてくれるはずだ。」たぶん、このようなイメージではないでしょうか。もちろん、深い学問的な知識や技術はとても大切なものです。けれども、お茶の水女子大学で学びたいと思っている皆さんの中には、深く専門的な知識を学びたいと考えている人ばかりではないでしょう。将来の進路を考えて、幅広くさまざまな分野の知識や技能を身につけたいと考えている人や、分野を横断した最先端の学問領域や、国際理解を深めたいと考える人もいることでしょう。

一人ひとりの意欲やニーズに柔軟に対応する専門教育課程の構築—こうしたみなさんの願いを実現するのが、お茶の水女子大学が始める「複数プログラム選択型」の専門教育課程です。「21世紀型文理融合リベラルアーツ」教育を基礎とする広い視野のもとに、基礎と専門を歯車のように連携してこの目標を構築させます。



教育機構長(理事)  
耳塚 寛明

## 21世紀型文理融合リベラルアーツの概要

### 文理を融合した学びを



高度な専門教育を支え、使いこなすために、発信・交渉能力、領域横断的な視野、変化に対応する判断力を養う必要があります。知識そのものの基礎であり、生涯をとらして、自在に(リベラル)つかえる技(アーツ)を学ぶことが、「21世紀型文理融合リベラルアーツ」の目的です。

「文理融合リベラルアーツ」では、5つのテーマ(生命と環境、色・音・香、生活世界の安全保障、ことばと世界、ジェンダー)に沿って、講義、討論、発表、演習・実験・実習を組み合わせた系列科目群をつくり、自然・人文・社会の3つの角度から多面的に学びます。

系列の授業科目には、「講義」と「演習・実習・実験」の2種類があり、これを組み合わせ知識と実践力を高めます。「講義」は隔年開講、「演習・実習・実験」は毎年同じ科目が開講され、2年間を1クールとして、当該系列の全ての科目が開講されます。

どの系列でも文理双方から問題を問ひかけ、ここを「切り口」として知識と経験を広げ、主題を根源から理解することがゴールです。

## 複数プログラム選択履修制度の概要

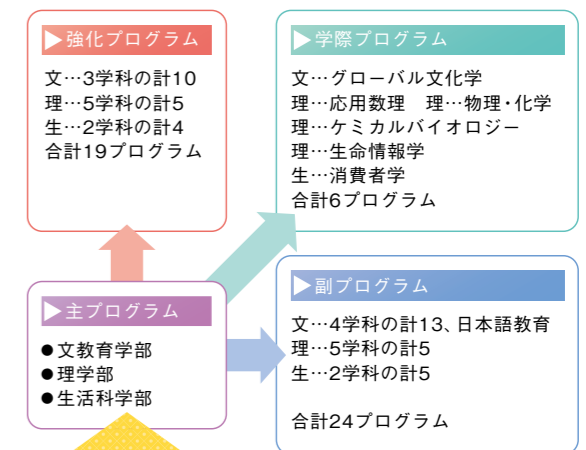
### 多様で主体的な学びの構築

従来の大学の専門教育は、深い知識や技術の獲得を目標としてきました。しかし、現代では高度な専門性に基づく研究力と同時に、その専門的な知識を多様な職業領域で活用できる広い見識と応用力が求められます。こうした21世紀の国際社会の進化に対応するために、リベラルアーツを踏まえながら、さらに多様な可能性を発揮できる専門基礎力を育成するのが「複数プログラム選択履修制度」です。

複数プログラム選択履修制度の専門教育は、「主プログラム」「強化プログラム」「副プログラム」「学際プログラム」の4種類から、目的に合わせて組み合わせることで、深い知識だけでなく自分のニーズに即応した知識・技術を体系的に学ぶことが可能になります。例えば、自分の所属する学部が提供する第1のプログラムの「主プログラム」を基本に、第2のプログラムで同じ専門領域における高度な科目群の「強化プログラム」を選択することにより、専門領域に特化した深く高度な専門性を身につけることができます。また、第3のプログラムで興味や関心に合わせて学部を超えた「副プログラム」「学際プログラム」を履修することも可能です。

自由な学びで高度な専門性と幅広い見識を育む主体的な学修プロセスの構築—それが「複数プログラム選択履修制度」です。

### プログラム選択パターン



21世紀型  
文理融合リベラルアーツ

# 21世紀型文理融合リベラルアーツ 5つのテーマ

Illustration by 横山ふさ子



## 生命と環境 \* \* \* Life and Environments

前世紀、空前の環境ブームが起こり、生存の場としての環境の重要性が認識され、人々は環境との良好な関わりを保つことこそが、生命活動の確保に欠かせないことを知りました。

生命と環境との関わりを深く理解し、その上で新たな共生の方法を創成することが、21世紀を生きる我々に課せられた重大な使命であると考えられます。

「生命と環境」の科目群では、実体験を通して多くの知識に触れることを重視しています。学問の緒に着いた学生にとって重要なことは、まずは経験と、体験です。これらを通して、「知識の引き出し」を増やし、知的好奇心を育むことだと考えます。これをもとに、生命を守るための環境への配慮を行うために必要となる、「複眼」的視野の導入を図ります。

### ▶ 開講科目

生命とは何か (4科目)	生命を取り巻く環境 (自然環境) (3科目)	生命を取り巻く環境 (文化環境) (3科目)	生命・環境を「体験する」 (演習・実習) (6科目)
現代科学における生命像、生命倫理、生物としてのヒトとはどのようなものか、という問題を提起し、生命を多角的に捉えることを目指します。	ヒトの営みとは無関係に存在する環境(自然環境)を取り上げ、天体としての地球とそこで繰り広げられる多様な環境の出現を扱います。	ヒトとの関わりのもとで育まれる環境(文化環境)を取り上げ、ヒトの文化の多様性とそれを育む環境の多様性、地域と風土、さらにはそれらとの共生の問題を扱います。	湾岸生物教育研究センター(千葉県館山市)での合宿実習を通して、生命・環境を「体験する」(演習・実習) (6科目)生命誕生のリアルタイム体験、海浜生物環境のフィールドワーク等を経験します。あらかじめ大塚キャンパスでの予備実習(顕微鏡観察の基礎等)を行うことで、初心者でも実習に参加できます。また、自然環境の計測法を学ぶことで、環境の成り立ちを理解する「気象観測(演習)」も行われています。この他に生命科学や環境問題、環境保護活動などを扱うディベート方式の演習も用意されています。
演習・実習(6科目)			



## 色・音・香 \* \* \* Color, Sound, and Aroma

色・音・香という身近な感覚、感性を共通の切り口とし、自然の原理と我々の文化、社会について学びます。色・音・香の本体は物理学や化学を使って自然科学的に説明できるものです。また、人や生物がそれらを受容し、認識する最初の過程は生物学、生理学的なものです。

しかし、その作用や影響は自然科学的であるだけでなく、社会、文化的な分野に広く及びます。色・音・香は、服飾、住居、食物といった私たちの生活様式や文化に大きく関わっていることはいうまでもなく、音楽、美術などの芸術、さらには宗教、心理、発達といった人間の内面や行動様式にも大きな影響を与えています。

ここでは色・音・香を通じ、自然現象とその法則を学ぶとともに、人間(生物)は自然界の情報や社会的、文化的な情報をいかに認識、受容、利用していくのか、また人間と自然そして社会との相互作用についての理解を学びます。

### ▶ 開講科目

講義科目は、自然・物質としての色・音・香を取り扱う(自然科学系) 4科目、人間・感性・文化といった視点(人文科学系)からの4科目、物質・環境と人間生活といった視点(文理融合)からの2科目からなり、演習科目は、「感覚の科学」、「おいしさのサイエンス」(実習を含む)、「音を読む・創る」、「感覚の歴史を読む」の4科目からなります。感性とモチベーションを高め、楽しく学んでいきましょう。



## 生活世界の安全保障 \* \* \* Everyday Life Security

人間の生活世界には、日常の衣食住にまつわる事件・事故から、大災害や戦争のような脅威まで、多様な危険がひそんでいます。私たちは、これらの多様な危険に対処し、安全に生活を送るために、さまざまな社会的・技術的・文化的な装置を作り出してきました。しかし、そうした装置が、かえって危険を増幅したり、抑圧や不平等を招いてしまうこともあります。また時代が進むにつれ、テクノロジーの発展によって克服された危険がある一方で、グローバル化の中で新たな脅威が生まれたりもしています。この系列の科目では、安全を守るために何が必要なのか、を考えることを通じて、社会、技術、文化の相互関係をとらえ直し、同時に生命としての人間のあり方を考察します。

### ▶ 開講科目

日常生活の安全保障(3科目)	グローバル化の中の安全(3科目)	安全の基礎条件(4科目)
現代はリスク社会だと言われるように、日々の暮らしの中にも、多くの危険がひそんでいます。労働、家族、情報社会などの観点から、生活の安全を維持・回復するしくみについて考察します。また、そうした社会的な取り組みが歴史的にどのように行われてきたのかについて、振り返って考えます。	グローバル化する現代世界では、かつてとは異なる新たな危険が生じることがあり、その対応にもグローバルな視点が求められています。暴力、戦争、貧困と開発、公害、化学物質、資源など、国境を超えた諸問題を、安全保障の文脈で学びます。	人間の生活を守る基礎的な条件は、そもそも何なのでしょう。人間が存在する物質世界の性質、生命体としての人間、健康維持、生活環境といった観点から、危険と安全を考察します。また、社会の中で脅威を受けやすい存在である弱者に注目し、人間の生活の安全を再考します。
演習・実習(5科目)		



## ことばと世界 \* \* \* Language in the World

“ことば”は世界とどのような関わりを持つのでしょうか。“ことば”は何を表し、我々はそれによって何を表現しているのでしょうか。この系列では、次のようなカテゴリーから考えていきたいと思います。

### ▶ 開講科目

ことばの理論(5科目)	ことばを読む(3科目)	情報としてのことば(2科目)	自然を記述することば(2科目)
言語そのものに関する議論です。言語の理論は高校で習う「文法」だけでなく、より抽象化された論理学、言語の使われ方を通して社会を考える言語社会学、乳幼児が言語を獲得していく過程を扱う発達言語学、自分の言語ではない第二言語を習得していく過程を分析する言語習得論など、色々なジャンルが存在します。	文学作品を中心とした、言語による表現を解説します。しかし必ずしも対象は「文学」に限定される必要はありません。新聞記事であれマンガであれ、言葉で表現されたものは、時に著者本人も意図しないような何かを表してしまっているものだからです。高校「国語」とは違った流儀の「読み方」が展開されていきます。	情報とは現実世界をあらわす“ことば”のことです。ヒトは情報を介して世界を知る生物です。膨大な情報を処理しなくては、世界の実像を知ることはできません。その意味で、情報学は諸科学の知の基礎をなしています。また、情報化時代における生活の基礎をなす「作法」としての情報能力を養うことも、このカテゴリーの目的の一つとなっています。	科学とは、実は“ことば”で自然を記述する行為のことです。そこでは我々の日常会話とはもちろん違ったレベルの“ことば”が必要となります。数学、物理学、化学などといったどのような語り方を考案することによって自然に迫っていくのか、具体例を通して考えていきます。文系の人も、「自分は理系ではないから…」と尻込みせず、日常的感覚が大きく更新される体験を味わってください。
演習・実習(8科目)			

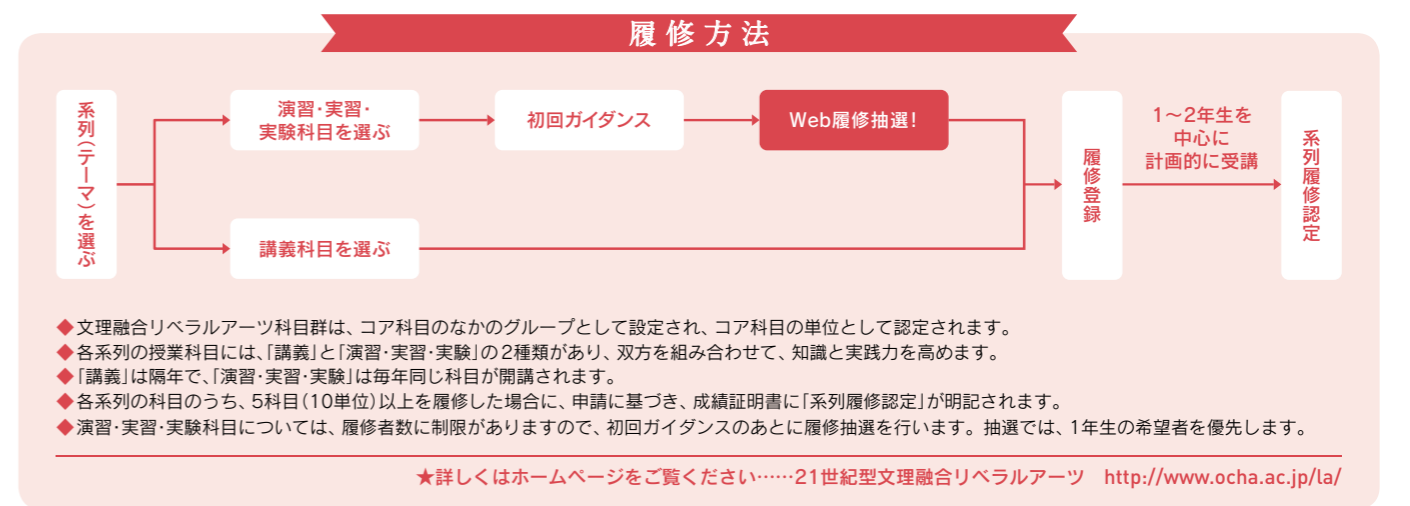


## ジェンダー \* \* \* Gender

「人は女に生まれ、女になる」とシモーヌ・ド・ボーヴォワールが語ってから半世紀以上たっていますが、まだまだ世界の仕組みは「女」になったり「男」になったりするように人々を誘導しています。そう、ジェンダーは社会や文化によって形づくられた性別です。そして少子高齢化社会に突入している日本では、また人やモノやカネが国境を越えて移動しているグローバル化の時代には、ジェンダーは以前よりもっと巧妙にわたしたちの人生や生活のなかに入り込んでいます。他方で、「愛する」かたち(セクシュアリティ)の多様性や、「産む」ことにまつわるテクノロジーの進展は、自由や解放とともに、反発や問題の複雑さももたらしています。今を生きるジェンダー学を学びましょう。

### ▶ 開講科目

政治経済と人間(3科目)	文化メディア(2科目)	グローバル化(2科目)	テクノロジー(2科目)
市場経済の進展がジェンダーにまつわってケアや福祉や消費や家庭経済をどのように変容させているのか、また家庭や社会のなかの暴力がジェンダーの視点でどう法制化されているかを考えます。	映画や美術や文学やマンガやミュージックなどのポップカルチャーが、ジェンダーやセクシュアリティをどう描いているのかを考えます。『タイタニック』や『冬ソナ』で泣いているあなたは誰？	グローバル化はどのように国境を越えてジェンダーの仕組みを変えるのか、またローカルな文化(たとえばイスラムのヴェール)はどのように国境を越えて政治的意味をもつことになるかを考えます。	生殖科学はわたしたちに何をもたらすのでしょうか、また従来の科学の枠組にはどんな前提があったのでしょうか、そして一見、無関係に見えるインターネットとジェンダーの関係などを考えます。
演習・実習(4科目)			



# 複数プログラム選択履修制度の履修方法

## 第1のプログラム

必修

### 趣旨

各専門領域の基礎的な知識や技能を、一貫的、調和的に修得するためのプログラム

### 選択条件

所属学科の開設するプログラムから選択すること

### 開設プログラム

#### ◆文教育学部

##### ◎人文科学科

哲学・倫理学・美術史、比較歴史学、地理環境学

##### ◎言語文化学科

日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化

##### ◎人間社会科学科

社会学、教育科学、心理学

##### ◎グローバル文化学環

グローバル文化学

#### ◆理学部

##### ◎数学科

数学

##### ◎物理学科

物理学

##### ◎化学科

化学

##### ◎生物学科

生物学

##### ◎情報科学科

情報科学

#### ◆生活科学部

##### ◎人間・環境科学科

人間・環境科学

##### ◎人間生活学科

発達臨床心理学、生活社会科学、生活文化学

主プログラム

## 第2のプログラム

以下のプログラムから  
選択必修

強化プログラム

### 趣旨

各専門領域のより高度な科目群からなり、専門領域に特化した深い専門性を培うためのプログラム

### 選択条件

同一名の主プログラムを履修していること

副プログラム

### 趣旨

学生の多様な能力・適性および学習意欲に応え、専門とは異なる分野の幅広い学習機会を提供するためのプログラム

### 選択条件

所属学部で開設するプログラムから選択すること。ただし、主プログラムと同じプログラムを履修することはできない

学際プログラム

### 趣旨

新たな領域融合型ないし学際型の専門領域に即応し、先端研究分野等で要請される新しいタイプの専門人材養成に対応するプログラム

### 選択条件

所属学部で開設するプログラムから選択すること

### 開設プログラム

主プログラムと同じ  
(グローバル文化学は除く)

### 開設プログラム

#### ◆文教育学部

哲学・倫理学・美術史、比較歴史学、地理環境学、日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化、日本語教育、社会学、教育科学、心理学(A・B)、舞踊教育学、音楽表現

#### ◆理学部

数学、物理学、化学、生物学、情報科学

#### ◆生活科学部

人間・環境科学、発達臨床心理学、公共政策論、ジェンダー論、生活文化学

### 開設プログラム

#### ◆文教育学部

※( )は提供学科

##### ◎グローバル文化学

(文教育学部グローバル文化学環)

#### ◆理学部

##### ◎応用数理

(理学部数学科、物理学科、情報科学科)

##### ◎物理・化学

(理学部物理学科、化学科)

##### ◎ケミカルバイオロジー

(理学部化学科、生物学科)

##### ◎生命情報学

(理学部生物学科、化学科、情報科学科)

#### ◆生活科学部

##### ◎消費者学

(生活科学部人間生活学科)

## 第3のプログラム

選択

副プログラム

### 選択条件

他学部のプログラムも自由に選択できる

### 開設プログラム

左の表(第2のプログラム)を参照

学際プログラム

### 選択条件

他学部のプログラムも自由に選択できる。ただし、理系学科提供のプログラムを、文系学科所属の学生が履修することはできない

### 開設プログラム

左の表(第2のプログラム)を参照

※1:グローバル文化学を主プログラムとする履修者は、必修プログラムとして、グローバル文化学主プログラムと、所属学科のいずれかのコースの提供する副プログラムを履修します。

※2:文教育学部芸術・表現行動学科は、複数プログラム選択履修制度とは異なる専門教育カリキュラムに従って学習します。なお、芸術・表現行動学科で学んでも、ニーズに応じて副・学際プログラムを選択することができます。

※3:生活科学部食物栄養学科は、複数プログラム選択履修制度とは異なる専門教育カリキュラムに従って学習します。なお、食物栄養学科で学んでも、ニーズに応じて副・学際プログラムを選択することができます。

# 複数プログラム選択履修制度の履修モデルプランと選択時期

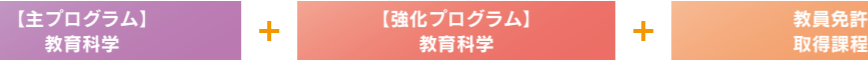
## 履修モデルプラン

学部別に「主プログラム+強化プログラム」の組み合わせを基本に、将来の目的に合わせて自分だけのプログラムを選択した履修モデルプランです。

### 文教育学部



卒業後、小学校の先生になることを目指しているため、小学校教諭の教職課程科目を多数含んでいる教育科学コースの「主+強化プログラム」を選択して、教育とは何たるものか、先生になるために必要な知識、視点などをしっかり学び、教職に就きたいと思っています。



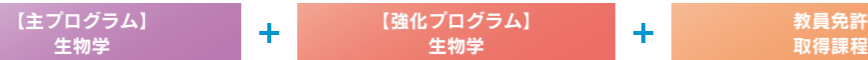
私は将来、NGOや国連など、国際的な場で活動したいと思っています。それで、国際情勢などについて幅広い視野を身につけるため、グローバル文化学環の「主プログラム」を選びました。さらに世界の国々や地域で起きている事象について造詣を深めるため、比較歴史学コースの「副プログラム」を選択。将来、海外の子供たちに日本語を教えたいので、日本語教育「副プログラム」を選択しました。



### 理学部



将来は高校の生物の先生として活躍したい私は、生物学を重点的に学びたいので、教員免許取得課程と共に生物学科の「主+強化プログラム」を選択する予定です。最先端の生物学の研究をおこなった経験を生かしたいので、大学院を修了した後に教職に就きたいと思っています。



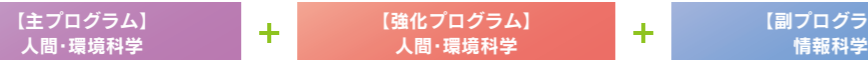
私はICT（情報通信技術）関連のグローバル企業で活躍したいので、情報科学科の「主プログラム」を選択することは決まっていますが、新しい領域であるゲノム研究に興味があったので、情報科学と生命科学を融合した生命情報学「学際プログラム」を選択する予定です。



### 生活科学部



理系の私は、生活科学部で身のまわりの課題について理工学的に考えてみたいので、人間・環境科学科の「主+強化プログラム」を選択し、さらに情報技術への関心も高いので情報科学の「副プログラム」も選択する予定です。どちらも大学院での研究や職業につなげていきたいと考えています。



消費者問題に関心があり、公務員としてその仕組みづくりに関わるか、企業のお客様相談室などに勤務したいと考えています。まず、生活社会科学講座の「主プログラム」で社会科学の基礎的な考え方を学び、消費者学「学際プログラム」で消費生活アドバイザーの資格取得に必要な科目を履修します。さらに、教育科学の「副プログラム」を選択し、消費者教育という視点からも考えることのできる力を養いたいと思います。



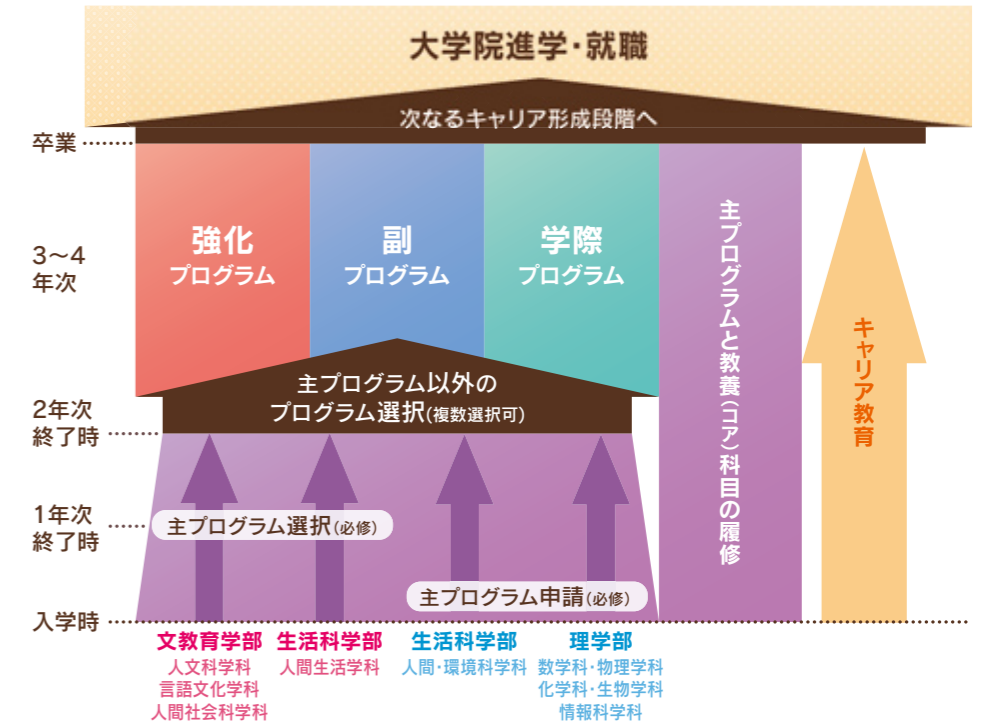
## プログラム選択時期

### 文教育学部と生活科学部の文系

- ◎ 「主プログラム」の選択は1年次終了時
- ◎ 「主プログラム」以外のプログラムの選択は、2年次終了時以降

### 理学部と生活科学部の理系

- ◎ 「主プログラム」の申請は入学時
- ◎ 「主プログラム」以外のプログラムの選択は、2年次終了時以降



## 小さなキャンパスで広く学ぶ——他大学との単位互換制度

### 学部学生交流協定に基づく単位互換制度

本学では、以下の大学と交流協定を結び、単位互換制度を実施しています。協定先大学が開講する授業科目を「特別聴講学生」として履修することができ、修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができます。また、今後、協定大学を増やす予定です。

### 学部学生交流協定校一覧

H 24. 4現在

協定先	受入・派遣学生の条件				履修可能学部
	対象学生	文教育学部	理学部	生活科学部	
東京工業大学	—	○	○	○	理学部 / 工学部 / 生命理工学部
東京芸術大学	—	○	○	○	音楽学部
共立女子大学	—	×	×	○	家政学部
東京外国語大学	2年生以上	○	○	○	外国語学部
東京海洋大学	—	×	○	×	海洋学部

# 履修に関するQ&A、その他

## 21世紀型文理融合リベラルアーツ

### 履修科目に関して

**Q. どれか系列をかみならず履修しないといけないのですか？**

**A.** 必修ではありませんが、同一系列内で何科目履修してもいいですし、系列をまたがって履修してもいいです。各学部の履修規程に沿って、コア科目としての必要単位数を満たしてください。

**Q. 文系学生でも理系の授業についていけますか？**

**A.** どの授業も文系と理系の学生が受講することを前提にしていますので、心配ありません。不安な場合は、個々の授業で教員に相談してください。

**Q. ひとつの系列テーマから5科目を履修して認定をうけると何に有利になりますか？**

**A.** 系列履修は、テーマを切り口にして、同時にそのテーマを深く理解することを目指しています。5科目以上を履修して系列履修認定を得れば、自分の専門のほかに、一つのテーマに沿って体系的に学んでいたことの証明として、就職や留学などの際に、アピールすることができます。

**Q. 文理融合リベラルアーツの講義科目は、自由に履修できるのですか？**

**A.** 演習・実習・実験科目は、履修者数の上限を20名(NPOインターシップは30名、手話学入門は15名)としていますが、講義科目には履修者数の制限はありません。自分の希望する講義に出席し、履修登録をしてください。ただし、講義科目のほとんどは隔年開講になりますので、開講年度に注意してください。

**Q. 教職課程とコア科目は、どちらを優先すればいいですか？**

**A.** 1年次においては、コア科目を優先してください。

**Q. 講義と演習・実習のどちらも必ず履修しなくてはいけないのですか？**

**A.** 必ず履修しなくてはならないわけではありませんが、リベラルアーツ科目群のねらいとして、テーマを追求するために多様な方法と能力を1年生のうちから養うことを挙げているので、両方履修することを推奨しています。

**Q. 演習・実習は、2つ以上履修することはできますか？**

**A.** 複数履修可能ですが、演習科目は予習や復習なども含めて課されることも多いので、他の履修科目とのバランスをみて選択してください。

## 複数プログラム選択履修制度

### 履修スケジュールに関して

**Q. 複数プログラムを選択する時期はいつですか？**

**A.** 主プログラムについて、理系は、入学時点で申請します。文系は、1年次終了時(1月頃)にWeb申請し、申請者数(第一希望者の数)が受け入れ上限数を下回っている場合は、そのまま決定します。受け入れ上限数を上回っている場合は、当該主プログラム提供コース・講座において選考します。第2のプログラムは、文系理系とも2年次終了時に、Webにより申請します。第3のプログラムは、2年次終了以降、Web申請可能です。いずれのプログラムも上記の申請に先立ち予備調査を行います。

**Q. 一年次はどれくらい単位を取得すればよいのですか？**

**A.** 選択したプログラムにもよりますが、教職や資格取得を希望しなければ、週12コマ前後になります。ただし、各授業の評価も重要なので、余裕をもって履修できるかどうか検討してください。

**Q. 教職と学芸員資格は両方取得可能ですか？**

**A.** 可能です。ただし、時間割を組むことがとても複雑になるので、よく見直しを立てて履修計画を立ててください。

**Q. 教職などで科目が開講されていないものがあるのですが？**

**A.** 隔年開講の科目があります。「授業時間割」や総合学修支援センターなどで確認してみてください。

### 履修科目に関して

**Q. 自分の入学した学部・学科以外の授業も履修できますか？**

**A.** 履修できます。主プログラムと第2のプログラムは入学した学部の提供するものから選択しなければいけませんが、第3のプログラムは、他学部の提供する副プログラムや学際プログラムからも選択できます。また、プログラムとしてではなく、科目単位でも他学部の科目を履修することができます。

**Q. 自分の入学した学部・学科以外の学位を取得できますか？**

**A.** できません。自分の所属している学部・学科の主プログラムと、所属学部から選択する第2のプログラムの履修が、学位を取得するための必修プログラムとなっています。

**Q. プログラムは何個でも選択することができますか？**

**A.** プログラムの選択は3つまでです。それ以上は、時間割上、履修することができませんし、授業の予習・復習の時間を考慮すると、物理的に3つ以上を履修することは難しいからです。特に、理系の学生は、実験に費やす時間が必要なため、学科によっては、必修のプログラムを2つしか取れないということも有り得ます。

**Q. 理系の授業でも文系学生についていけますか？**

**A.** 大丈夫です。文系の学生が受講可能なプログラムは、専門分野の基礎的な知識・技能を横断的に、かつ一定の深さで学ぶために編成されているので、心配ありません。不安な場合は、総合学修支援センター(※P8参照)で履修前に相談することができます。

**Q. 履修プログラムの変更はできますか？**

**A.** 主プログラムの変更は、転学部・転学科ということになりますので、前年度1月末日までに、教務チームに申請します。第2のプログラム、第3のプログラムの変更については、総合学修支援センターに相談してください。

**Q. 興味のある授業が複数あって、どれを履修するか迷っています。**

**A.** 履修登録期間は、授業を自由に見学できるので、積極的に複数の授業を受けてみてください。

## 総合学修支援センター

一人ひとりに柔軟に対応し、  
学修を全面的にサポートします。

新たな専門教育プログラムでは、学びを形成する主体は学修者自身になります。けれども、自主性に任せられても、ひとりではうまく学修プロセスを構築できないのではないかと、という心配の声もありそうです。

そこでお茶の水女子大学では、これまで以上にきめ細やかな学修支援をおこなう体制を準備しました。一つに、それぞれのプログラムを構成している科目に、学修の順序性や難易度を表す色分けによるカラーコードをつけています。これにより、カリキュラムの構造を視覚的に把握できるようになり、プログラムを選択するとき、どのような順番と組み合わせで各科目を履修すればいいのか判断しやすくなります。もう一つは、総合学修支援センターです。プログラム選択や学修に迷ったときに気軽に相談できるスタッフや情報関連機器が整備され、一人ひとりの主体的な学修をサポートする体制が用意されています。

科目カテゴリ	授業科目	CCBM	単位	評価	科目のGPA範囲	科目の平均GPA	年度	備考
コア科目	基礎英語		2	C	1.12	3.25-0.00	1.09	12
	中級英語		2	P	—	—	—	11
	ドイツ語(中級)		2	A	3.00	3.68-0.00	2.59	11
	英会話		2	C	1.33	3.33-0.00	1.57	12
	教育方法論		2	B	1.82	4.50-0.00	2.54	12
	哲学基礎論		2	A	2.71	4.00-0.00	1.95	12
	美術史基礎論		2	A	2.89	4.28-0.00	1.09	12
	自然と人間		2	B	1.96	3.20-0.00	3.11	12
	人間と空間		2	A	2.84	4.50-0.00	2.90	12
	哲学概論		2	B	1.93	4.00-0.00	3.13	12
哲学・経済学・農学系プログラム	哲学概論II		2	B	1.99	4.28-0.00	2.26	13
	西洋数学史I		2	A	2.84	3.20-0.00	2.54	12
	西洋数学史II		2	B	1.90	4.00-0.00	1.95	12
	西洋数学史III		2	C	0.75	4.00-0.00	1.09	13
	概念分析論(演習)		2	A	2.83	4.28-0.00	3.11	12
	概念分析論(演習)		2	B	1.97	3.20-0.00	2.90	12
	概念分析論(演習)		2	C	0.85	4.50-0.00	3.13	13
	哲学演習I		2	A	2.81	4.00-0.00	2.26	12
	哲学演習II		2	B	1.97	4.28-0.00	2.54	13
	哲学演習III		2	C	0.95	3.20-0.00	1.95	13
方言分析学(作品調査)		2	B	1.92	4.25-0.00	1.09	13	
方言分析学(演習)		2	A	2.83	3.20-0.00	2.26	12	



▲カラーコードベンチマーク(CCBM)  
◀総合学修支援センター(学生センター棟1階)